

埼玉岳連

埼玉県山岳連盟
埼玉岳連報 第37号

発行者 森下 健七郎
発行所 岳連事務所 天野賢一方
〒333-0823
川口市石神179-40
編集人 岩井田 正昭
発行部数 1600部



ゆめ半島《千葉県国体》で悲願達成！

『千葉県国体で天皇杯7位・皇后杯6位！』

少女ボルダ3位リード5位、成男ボルダ4位

千葉本国体が千葉県印西市松下公園・総合体育館を会場に10/2〜4に行われた。

少年女子・監督：宇津木秀一、選手：尾上彩(川口南中)・是永つぐみ(東京家政大付属女子高)、成年男子・監督：佐藤豊、選手：角田大樹 早稲田大・古川慧(株)シヨウワ)が参加した。

初日・午後は少女女の期待のリード競技は尾上選手が完登し順当に3位と好位置に付け決勝進出へ！同じく午後は成年男ボルダリング予選が行われ、古川・特に角田選手が最後の第4課題どっかぶりを見事一撃完登で6位に食い込む大逆転で決勝へ！

2日目・午前の少女女のボルダリング競技も尾上是永の活躍で順当に3位と好位置に付け決勝進出へ！午後、期待の成年男子リード競技は角田が最後に完登を逃し14位と決勝進出を逃してしまふ。

最終日の午前の少女女子リード競技決勝では尾上彩選手が不本意な成績で5位と順位を後退させた。午後のボルダリングでは復活して全完登を果たし是永選手の後押しもあり、2位千葉に迫るも惜しくも3位となった。同じく午後最後の成年男ボルダリングでは前半2課題で古川・角田選手が第一課題を共に一撃完登し、何と上位4チームに入る活躍を見せ、後半2課題に望みを繋ぐ。後半2課題は難しくポーンナスを取るのがやつとだったが、他のチームも苦戦の中、3位宮城に迫る4位と快挙を達成した。「本国体で天皇杯・皇后杯共8位以内」の目標を達成出来て嬉しい！選手監督・岳連応援に来てくれた森下・福田・天野・町田・岩井田・土屋・塩谷他関係者の皆さんに感謝します 強化委員会・小茂田利孝

『平成22年 7月理事会報告』

平成22年7月13日(火) 19:45

北本市中央公民館

出席 森下会長・石倉副会長・福田副会長・天野理事長・野村指導委員長・土屋競技委員長・宇津木強化委員長・鈴木海外委員長・岩井田広報委員長・大石ジュニア委員長・加藤事務局長・塩谷事務局(大宮)・町田事務局(大宮アルブ)・長谷川(熊谷)・矢萩(B7)・谷口(大宮岳稜)・岡野(蓮田)・大成(さいたま市役所)・吉田(JR大宮)・堀江(桜草)・小高(熊谷)・仙波(榎)・柴崎(川口)・大山(比企)・鈴木(無名)・伊藤(防衛医大)・室伏(エコー)・竹中(たらっぺ) (計27名)

1 開会挨拶 (福田副会長) 先週は関東ブロック大会の必勝会議に参加しました。今年度は群馬県開催、本大会も千葉県です。応援を宜しくお願います。

2 挨拶 (森下会長) 5月の理事会が連絡不足のため、あまり集れませんでした。今回は実質の22年度理事会初めかと思えます。今年度も宜しくお願いたします。

3 報告

- ① 6/12 「加須の壁を登ろう！」(加須) 競技委員連絡が遅れ岳連からの参加無し。
- ② 6/13 コバトンカップ・ボルダリング in R 川越128名参加 ※報告 5P参照
- ③ 6/20 登攀技術講習会・指導員養成講習会 (天覧山) 指導委員会&遭対委員会 計40名参加 ※報告 8P参照

4 協議

(1) 新規加盟団体の取り扱いについて (報告「彩山岳会」より、加盟申請書が届き、5

月理事会にかける。↓書類等に不備はないが、A理事より異議が出、結論は三役に委される。その後三役で協議し対応し↓活動の様子を暫くみる(相手方も了承)↓2月の理事会で再協議とする。

(2) 指導員講習会の日程等について

- ① 9/4 加須のクライミング講習会の日 上級のボード利用の講習と机上講習
- ② 10/16-17 登攀講習会+指導員検定
- ③ 11/27-28 救急と遭難の講習会

④ 1/15-16 積雪期講習会+指導員検定 (那須) 11/6 机上講習+屋外の講習ができなかった場合の予備(那須)

(3) 8/7-19 自然保護委員会の「登山教室・三峰」について

今年度は予算的、人的に整わないため中止とする。

(4) 9/4 競技委員会事業(講習会) 「加須壁の利用認定を取ろう！」について ※初心者の方も歓迎です。人工壁でのクライミングをやってみませんか「利用認定試験」も行います。是非どうぞ。

(5) 今年度の検討課題について

- ① ホームページ・プロバイダーと契約予定 デモサイト <http://www.climbell.co/html/hd/>
- ・高尾氏には、初期費用2万と今後のサポート代として2万を支払う予定。
- ・広報が協力(広報との関連を検討) 9月公開予定。

(6) その他

あるホームページに、埼玉岳連の広報がそのまま掲載されている。個人情報や著作権等の問題が生じる。対応をお願いしたい。(広報委員長) ↓まず、ホームページの管理者に、忠告し個人情報を消してもらう。↓ガイドラインを策定。

5 各部からの報告等

① 指導委員会

● 6/12 日山協指導委員総会(野村・鈴木) ※今年から、鈴木一美さんも常任として参加。

● 6/20 登攀技術講習会・指導員養成講習会(天覧山) 遭対と合同で開催 40名の参加。

◆ 指導員養成講習会の進捗状況

指導員7名、上級指導員16名の申し込みあり。現在県体協に申請中。東京都に依頼してある上級指導員の共通科目の講習会参加を交渉中。東京都と埼玉県の講習日がバッティングしているが、その場合は、東京都優先。講習会費は2万円位で実施。

② 競技委員会

● 6/13 コバトンカップ・ボルダリング in 川越

● 7/17-18 関東ブロック大会(群馬県前橋市) 審判員派遣(土屋競技委員長) ※報告 5P参照

● 9/4 (土) 09:30~15:30 加須壁の利用認定を取ろう(講習会)

③ 選手強化委員会

● 7/6 国体必勝対策会議

● 7/10-11 関東ブロック大会 会場視察・祝勝会・練習会等実施。

● 7/17-18 関東ブロック大会(群馬県前橋市) 監督・選手派遣

● 8/13-15 JOCジュニアオリンピック大会(南砺市) 選手派遣【別紙】

④ 遭難対策委員会

● 6/20 登攀技術講習会・指導員養成講習会(天覧山) 指導と合同

● 6/26-27 日山協遭難対策委員会総会・研修会(箱根) 瀬藤

● 1/27-28 救急医療研修会

(27:上尾スポ研15名宿泊予約、28:県活)

⑤自然保護委員会

●6/5-6 清掃登山 中間報告【別紙】

⑥海外登山委員会

●6/19-20 日山協・第29回海外登山遭対研究会
兼委員総会(日光) 鈴木・鳥・大山・鈴木・加藤

●7/6 例会

『平成22年8月常任理事会報告』

平成22年8月24日(火) 19:45

北本市中央公民館

○出席：森下会長・柳原副会長・石倉副会長・福田副会長・天野理事長・瀬藤遭難対策委員長・野村指導委員長・土屋競技委員長・岩崎自然保護委員長・鈴木(指導副)・長谷川(日山協常任)・加藤事務局長

(計12名)

欠席：宇津木選手強化院長・大石ジュニア委員長・岩井田広報委員長・村岡企画委員長・(塩谷事務局・町田事務局)

1 開会挨拶 (柳原副会長)

2 挨拶 (森下会長)

3 報告

①関東ブロック大会(7/17-18 群馬県前橋市)

関東突破：少年女子

②JOCジュニアオリンピック大会

(8/13-15 富山県南砺市)

③クライミングワールドカップ印西大会

打ち合わせ(8/17 日山協) 村岡・土屋

4 協議

(1) 千葉国体派遣選手・監督等について

(選手強化委員会)

少年女子監督：宇津木秀一

選手：尾上彩、是永つぐみ

成年男子監督：佐藤 豊

選手：角田大樹、古川 慧

8/30 県体協団体選考会議・監督会議

9/15 県体協結団式・壮行会

10/2-4 本国体(千葉県印西市)

(2) 秩父ブドウ沢事故に関して

(遭対委員会・理事長・事務局他)

①県内での事故や県内関係者事故の場合のマスミ

対応策について

ア・岳連関係の事故情報の収集について

イ・マスコミ対応策(方針と窓口・担当者等)

ウ・マニュアルについて(資料参照)

②埼玉県庁・消防防災課・斉藤様より依頼・要請

7月末の防災ヘリ事故に鑑み今後、山岳遭難関係

の「防災ヘリの運行ガイドライン」を作成したい。

具体的には検討委員会を創設して、以下のよう

な概要・手順を考えている。

(イ) 埼玉県山岳連盟でも代表委員を1名選出し、

派遣して戴きたい。

(ロ) 検討委員会は平日になるので、平日でも参

加できる人が望ましい。

(ハ) 第一回合は9月初旬と考えている。最終

案は12月頃に完成させたい。

以上について、ご協力をお願いしたい。

↓代表委員「瀬藤武・遭難対策委員長」をお願い。

常任理事会決定。

③県防災ヘリ墜落事故↓県民葬 9月2日(木)

午後1時30分〜大宮ソニック

・県岳連参列者：森下会長・天野理事長・

・花輪等(慶弔費より 花輪1基 ※報告6P参照)

(3) 海外登山委員会・講演会について

●11月25日(木) 午後7時

(海外登山委員長)

大宮ソニックシティ906号室★100名

●講師：平出 和也(ひらいでかずや)

1979年5月25日 長野県生まれ

東海大学出身現在、㈱ICI石井スポーツ

●演題：「未知への憧れ・極限への挑戦」

●会費：未定9/14の理事会で決定

●各会場で宣伝をお願いします。※PR4P参照

(4) 指導員養成講習会について

●講習会日程・講師について

別紙↓都体協の受け入れの判明が9月上旬なの

で一部不確定。県、日山協には、申請は済み。

11/6の加須は実施します。

●講習会費用/参加者について

講習会費2万円十各講習会実費上級16名指導

員7名 計23名

(5) 協定書について (事務局)

↓「秋山郷温泉保養センター雄川閣」より協定

書と覚え書きが到着。押印して1通を返信し、

協定の締結終了。

●同様な方法で協定書を取り交わしていきたい。

(マニユアル等参照)

(6) 名義後援等について (理事長・事務局)

↓「蕨ハイキングクラブ(未加盟)から、遭難対

策講習会(県山岳救助隊を招いて)を開催する

にあたり、県岳連の後援がほしい旨、連絡あり。

(理事長宛)

※未加盟団体であるが、山岳遭難事故を防ぐ為

の講演会なので、会長等と相談し承諾。理事会

には、報告事項する。

※事務局：今後のこともあるので、「後援等の

要綱(案)」を策定した。(マニユアル参照)

(7) 個人情報保護/著作権等について

●個人情報の取り扱いについて (方針)

↓日山協と同様とする。 (案・参照)

●ホームページでの著作権保護と個人情報扱いについて

(8) 日山協創立50周年記念功労者表彰候補者の推薦について

●前回40周年記念表彰リストを参考にして推薦 10/8 締め切り

(9) ホームページについて

契約状況 県岳連にはクレジットカードが無いので、一時停止したが8月末に契約、順次upしていく予定。

(10) 県岳連のロゴマークについて

村岡企画委員長が作成 どの様な物がよいか？

5 各部からの報告等

①指導委員会

9/11-12 登攀講習会のプレ講習会(丹沢) 野村

11/21-22 日山協登攀研修会(富山) 野村

②競技委員会

9/4 「加須壁の利用認定を取ろう」(加須市) 及び上級指導員養成講習会 ★参加者募集中

○平成25年の東京国体から国体監督は、指導員資格を持つこと。↓今後監督になりそうな高校の先生は資格を取得するようお願いしたい。

③選手強化委員会報告

④遭難対策委員会

9/10-12 山岳レスキュー講習会(東部地区)

(富山・国立登山研修所) 8/23 締切済み

○山岳共済保険の適応について↓保険会社からの回答(共済会) ↓※詳細は、瀬藤委員長まで

○日本山岳会埼玉支部の活動で、案内有り

※報告 7P 参照

⑤自然保護委員会

○10/9-10 和名倉山登山及び植林地整備(仁田)

小屋尾根コース) 9/30 締め切り要項に一部説明不足有り持ち物を追加

○9/11-12 日山協自然保護委員総会(新潟)

埼玉県内関係者の参加は浅見、岩崎、堀江、三ツ木、吉田、柳原、及び田中(日山協)、長谷川(日山協) ※新潟大会実施要項による(岩井田)

○トイレ補助金↓復活 (参考資料・7P参照)

○県立自然公園指導員に5人追加

○日山協自然保護指導員認定

⑧広報委員会

9/30 第37号発行予定8P/1600部:関フロ

群馬、登攀・指導員養成講習会・報告、理事会報告、他

⑩事務局

○会員証・発行状況 約500枚9月上旬には配布予定。さらなる追加発行をお願いしたい。

○全日本登山体育大会の参加回数調査について

○中高年安全登山指導者講習会・東部地区(山梨)からの参加呼びかけあり

6・閉会挨拶 (石倉副会長)

□次回

理事会 9月14日(火) 19:30 北本中央公民館

常任理事会 10月13日(火) 19:30 北本中央公民館

◆ <http://saitama.web.fc2.com/index.htm>



第7回 埼玉県山岳連盟

海外登山委員会 講演会

「未踏ルートへの」だわり・限界への挑戦」

ピオレドール受賞の登山家・平出和也氏による、困難なルートへ挑戦するアルパインクライミングの魅力についての講演。

期 日:11月25日(木) 19時~21時

場 所:大宮ソニックシティビル906号室

費 用:500円(資料代)当日受付

主 催:埼玉県山岳連盟 海外登山委員会

連絡先 090-7835-3455

後 援:ICI石井スポーツ

※ 2008年に挑戦したインド・カメット峰(7756m)に新ルートから登頂し、登山界のアカデミ

ー賞といわれるピオレドール(黄金のピッケル賞)を日本人として初受賞。世界的に評価される。

ビッグウォールから山岳スキー世界選手権参戦と幅広く活動する。オリジナリティーのある挑戦を実践している登山家。



コバトンカップ第3回ボルダリング大会 2010

第23回国民総合体育大会 兼

国民体育大会・埼玉県予選会

主管：埼玉県山岳連盟(国体、クライミング、選手強化委員会)

強化委員会

平成22年6月13日：ロッククラフト川越

恒例のコバトンカップ・ボルダリング大会が県体
会と国体埼玉県予選会を兼ねて『ロッククラフト川
越』会場で行われた。県内外から128名の選手が
参加しエキスパート、ミドル、ビギナー、キッズ、
チームのカテゴリー別に競技を行った。カテゴリー
別の3位までの入賞者は左記の通り。

☆エキスパート(氏名・所属・県別)

①古川慧(埼玉岳連)・埼玉、②佐々木政明(SOCC)・
埼玉、③角田大樹(埼玉岳連)・埼玉

☆ミドル

①阿久津昂汰(坂戸高校)・埼玉、②榑崎智亜(栃
木岳連)・栃木、③山本大将(坂戸高校)・埼玉

☆ビギナー

①関口祐二(コシノテ川越)・埼玉、②小島顕人(コ
シノテ川越)・栃木、③中田茉那(栃木岳連)・栃木

☆キッズ

①武藤颯汰(コシノテ川越)・埼玉、②本間大晴
(PUMPA)・埼玉、③田中修太(無所属)・新潟

☆チーム

①「頑者」小峰直城+宮倉大輔・埼玉、②「おぼ
か」佐々木政明+細田匠・埼玉、③「お母さん」
若尾龍隆+田中慎一・山梨

表彰式は満員の中行われ、埼玉県山岳連盟・森下
会長から賞状、賞品が授与された。

※成年男子国体出場選手は角田大樹、古川慧が決定



表彰式 1人置いて
左から角田、古川、佐々木選手



RC川越・熱気あふれる会場

第65回国民体育大会・関東ブロック大会

平成22年7月17日、18日

群馬県総合スポーツセンターに於いて開催

少年女子・総合順位・1位・是永つぐみ、尾上彩

少年男子・総合順位・4位・細田匠、宮倉大輔

成年女子・総合順位・7位・森林真理、生井沢知佳

関東ブロック大会に出場した少年女子は、大健闘し
茨城県と同着の1位を獲得、少年男子は一步及ばず

4位に終わった。成年女子は7位で終了した。



関ブロ・少年女子決勝1位!

千葉国体に出場選手、監督は左記のとおり

☆少年女子 選手・是永つぐみ(家政大付属女子高)

選手・尾上彩(川口市立南中学校)

監督・宇津木秀二(伊奈学園総合高校)

選手・角田大樹(早稲田大学)

選手・古川慧(シヨウワ)

監督・佐藤豊(アルテリア)

『埼玉県防災ヘリコプター墜落事故』

殉職者合同葬

平成22年9月2日 大宮ソニックシティ

去る7月に秩父市大滝沢で起きた遭難者の救助中にヘリが墜落し県防災航空隊員ら5名が殉職された。

9月2日、大宮にて県民合同葬が行われ、上田埼玉県知事、原口総務大臣らが献花を行った。

県山岳連盟からは関係者代表として森下会長、天野理事長が参列し献花を行った。関係者、一般参加者は約1400名。
(広報・岩井田)



合同葬・原口総務大臣の献花

【山岳事故関連ニュース】から

山岳遭難・安易な救助要請は「あたりまえ」なのか・・・おかしな風潮

埼玉県の山中で、遭難救助中の県防災ヘリコプター

ーが墜落し、パイロットなど5人が死亡した。沢登りをしてきた登山パーティーのメンバーが滝つぼに滑落し、救助を行うとする矢先の出来事だった。今回のケースに限らず、09年には北海道のトムラウシ山で8人が死亡するなど、山での遭難事故が後を絶たない。中には、自分の意思で登山したにもかかわらず、安易に救助要請を行うケースもある。こんな状況に、ヘリでの救助を有料化しようという検討した自治体もある。

■ヘリ1機の維持費年間1億円以上

ここ数年では、登山をする人は減少気味にもかかわらず、事故は増加傾向だ。日本生産性本部の「レジャー白書」によると、00年には930万人だった登山人口は08年には590万人と減少傾向だ。

一方、警察庁の統計によると、09年の山岳遭難発生件数は1676件で遭難者数は2085件。そのうち死者・行方不明者数は317人で、いずれも1961年以降で最悪の数字だ。その分、遭難のリスクが高まっているとの見方もできる。また、全遭難者の実に60.2%が55歳以上。高齢者の遭難が際だっている形だ。

自治体は、一度救助要請を受けると、多大なコストをかけて救助に向かうことになる。全国で最も遭難件数と死者数が多い長野県を例に取ってみると、09年に173件発生した山岳遭難に対して、警察官や山小屋関係者、消防団など延べ1843人が出動。1件あたり16.4人が出動している計算だ。さらに、この173件のうち、全体の84.4%にあたる146件にヘリコプターが出動している。そのうち4件が民間ヘリだ。民間ヘリが出動した場合、1時間あたり約50万円のチャーター料がかかり、その分は遭難者や家族が負担する形になる。逆に言えば、残り146件の警察・消防への出動については、任務の一環とされるため、費用は公費負担、つまり税金が費やされる形となる。

ヘリ1機を維持するためには、人件費を除いても、少なくとも1年に1億円以上がかかる。

■04年には長野県が有料化検討

この中には、携帯電話による安易な救助要請も少なくないという、実際、04年には、長野県でヘリの有料化が検討されたことがある。この発端となったのが、北アルプスに単独登山した男性からの救助要請だ。この男性は、03年夏、1か月に2度も「テントの中でお湯をこぼしてヤケドした」「転んで手を切った」

などとして救助を要請。ヘリが現場に急行すると、いずれも男性は元気な様子で、自ら手を振ってヘリを誘導したという。このようなケースが後を絶たなかったことから、田中康夫知事(当時)が、危機管理室に有料化を検討するように指示したが、航空法や他県の救助活動との兼ね合いがある上、田中知事が知事選で敗れたこともあって、有料化案は立ち消えになった。長野県以外にも、09年6月には、富山県議会会で「受益者負担」を求める質問が出ている。

今回の事故が起こった秩父山系を管轄する埼玉県警の山岳救助隊でも、一般向けニュースレターの中で「山では自己責任によるセルフレスキューが大原則の基本です。何かあったら救助を要請すればよい」との計画だけの登山はやめてください」と

「インターネットの情報を鵜呑みにして、あえて通行禁止の登山道に進入して遭難し、飲まず食わずで、一晩過ごしヘリに救助された事案があります。警察・消防の救助隊もヘリコプターも貴重な税金で運営されていることを忘れないでください」と呼びかけているものの、守られているとは言えないのが現状だ。

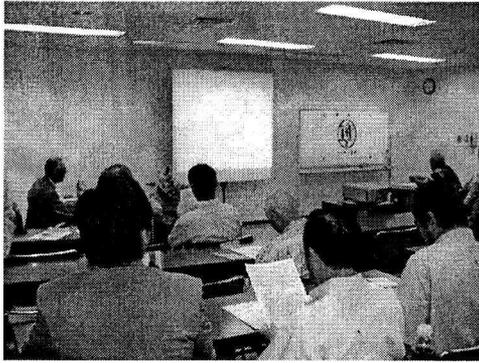
この項は7月27日・配信「CAST」ニュースより転載。

日本山岳会 埼玉支部による講演会

《第1回安全登山講演会プログラム》

平成22年9月15日に日本山岳会埼玉支部による安全登山講演会がさいたま市宇宙劇場にて開催され、県岳連から(大宮AC)石倉 正田、(浦和溪穂)掛川、(牧野、風間、瀬藤) (川越) 岩井田らが参加した。講演会の議題は

1. トムラウシ山遭難事故調査報告書から
 2. 慈恵医大槍ヶ岳山岳診療所60年の経歴から
- 講師は日本山岳会・埼玉支部安全登山委員会委員長・野村孝義氏※野村先生は長年、慈恵医大・槍ヶ岳山岳診療所において医療救護にあたられていた。トムラウシ遭難事故の原因の一つにエネルギー不足を指摘されていた。(広報・岩井田)



JAC主催の安全登山講演会

山のトイレ助成 廃止一転残った

(産経ニュースより転載) 2010.8.11 20:31

環境省は11日、行政事業レビュー(事業仕分け)で「廃止判定」を受けた山小屋のトイレ整備事業の

助成を継続する方針を固めた。「利用者必要性を判断し、直接山担が基本」というのが仕分け判定の理由だったが、補助金がない場合、登山客は1回1000〜2000円の利用料を支払うことになり、登山関係者が「トイレ補助は環境保護に必要」と反発していた。この日、専門家による山岳地域環境保全対策等検討会は「山小屋は公共的な役割を果たしている」とした中間報告案を出した。(杉浦美香)

検討会の中間報告案は「ティッシュペーパーが散乱し、垂れ流しトイレが今もある」と指摘。山のトイレについては「公共的な民間の山小屋を活用、整備のため5〜10年といった一定期間の助成が必要」と結論づけた。ただし、対象地域は国立公園や国定公園に原則限定。有識者による第三者委員会が助成の小屋に補助するのではなく、山城ごとの地域協議会などを通じて、計画性と透明性を確保するとした。

百名山ブームなどで特定の山に登山者に集中、特に世界自然遺産を目指した富士山で登山者が残したティッシュペーパーや汚物が散乱、垂れ流しの実態が明らかになった。

国は平成11年から国立公園や国定公園の山小屋がトイレを整備する際、補助事業を開始、10年間で100カ所を整備。山小屋を営む民間事業者や自治体がトイレを建設した場合、事業費1000万円以上は国が半分を補助する。今年度も約1億2000万円の予算で5カ所を整備する予定だ。

しかし、6月に行われた事業仕分けで、「山小屋には競争原理が働かないため、規制で山小屋自身に整備してもらい登山客からの利用料で回収した方が効率がよい」「受益者、汚染者負担の原則から補助は説明がつかない」などという理由で「廃止」と判定された。山のトイレはかつては貯留式で地中に染みこませたり、沢に垂れ流すなどしていたが最近で

は、おがくずやカキガラを使って微生物で分解させるバイオトイレが導入されるようになっていた。しかし、ヘリで機材を運ばなければならぬ地域もあり、設備自体も数千〜数万円かかる。

北アルプスで槍ヶ岳山荘など5つの山小屋を経営する「槍ヶ岳観光」の穂川康治社長は「4000万円かけて1つの山小屋のトイレ整備した。費用を回収するために利用客に1000円の利用料を要求することは事実上困難」と話す。

登山客のマナーの問題もある。ほとんどの山小屋で維持費のために100〜2000円のチップを入れる箱やかごを置いているが、チップを入れない登山客も少なくない。消耗品の供給や清掃など維持費すらチップで捻出(ねんしゅつ)するのが難しいという。

《平成22年度・自然公園清掃登山》報告

自然保護委員会

4月11日から6月6日にかけて恒例の県立自然公園清掃登山が行われた。清掃登山に参加した山岳会は23団体。参加人員延べ301名に及んだ。

排出した分別ゴミ類は缶類(60個+1袋+2kg)、壘類(138本+1袋+8kg)、ペットボトル類(170本+1袋)、可燃ゴミ類(1kg+2袋)。

大宮アルパインクラブ、あゆむ山の会、川口登山同好会、大宮山岳会、戸田市山岳連盟、蓮田山岳会、桜草山の会、東部登高会、川口市山岳連盟、川越山の会、毛呂山岳会、JR大宮山の会、防衛医大・山岳同好会、越谷山岳会、槻岳友会、エコー山の会、川口東高校、いずみ高校、加須市山岳連盟、桶川山の会、壁稜山岳会、小鹿野山岳会、県岳連・自然保護委員会。以上の団体が参加戴きました。

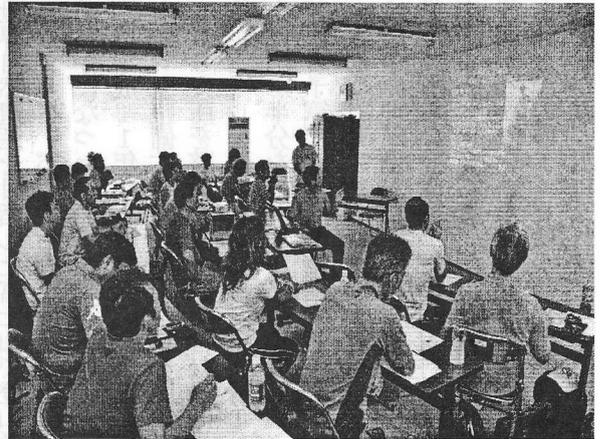
『指導委員会』指導員養成講習会報告

① 6月20日飯能・天覧山にて登攀技術講習会(遭対委員会)と指導員研修会(指導委員会)が合同で開催。主任講師に瀬藤遭対委員長がレスキュー等の指導を行った。受講者は23名、参加者は計30名。

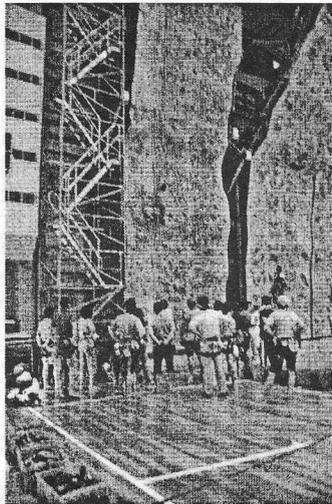


天覧山岩場にてチームレスキュー講習中

② 9月4日加須市民体育館で指導員、上級指導員養成と実技指導等の講習会が開催された。講習会の各テーマ及び講師は次の方々が担当された。①登山とクライミング」森下県岳連会長、②『登山と自然』長谷川(日山協) 自然保護委員長、③『登山医学』防衛医科大学校・伊藤先生(温熱医学と体液平衡)／高田先生(生活習慣病に起因する登山中のトラブル)④『山岳事故判例と指導者の責任』瀬藤遭対委員長、⑤『指導員制度の解説』野村指導委員長、⑥『上級者指導員・クライミング実技指導』土屋クライミング委員長。指導員、上級指導員の受講者は計23名。



『登山医学』の講義・防衛大／高田先生



リード壁を使ってクライミング実技の受講者

『指導員養成講習会』の今後日程

- 10月16、17日 登攀講習会+検定 飯能
 - ※16日(夜) テント設置講習会
 - 11月6日 (登攀講習会・雨天予備日) 加須
 - 11月27、28日 救急・遭対講習会 上尾+伊奈
 - 1月15、16日 積雪期講習会+検定 那須岳
- (広報・岩井田)

【事務局便り】左記連盟の新役員案内

- 神奈川県山岳連盟・平成22年5月
 - 名誉会長・山本芳夫、会長・大曾根弘、副会長・岡本安夫、相楽忠麿、石川誠、杉本憲昭(新任)、水島彰治(新任)、理事長・菊池稔(新任)、副理事長・斎藤正、石塚孝彦、監事・小池栄一郎、松崎健一(新任)
- 栃木県山岳連盟・平成22年5月
 - 名誉会長・坂口三郎、名誉会員・小林守志、会長・小島守夫、副会長・上杉純夫、渡邊雄二、石澤好文、喜内敏夫(新任)、糸川章(新任)、理事長・仙石寛英、副理事長・佐久間利美、山形正巳、渡部逸郎(新任)、事務局長・東和之(新任)
- 東京都山岳連盟・平成22年6月
 - 会長・佐藤 旺、副会長・松元邦夫、寺内丈行、宮地由文(新任)、専務理事・亀山健太郎、事務局長・大島俊男(新任)

『第65回国民体育大会』2010 千葉国体

- 競技スタート順が決定
 - 10月2日：競技開始 予選09:00～45番目
 - 10月3日：競技開始 予選12:30～2番目
 - 10月4日：競技開始 決勝11:30～
 - ・競技開始 決勝15:00～
- ☆☆☆ みんなで応援しよう！ ☆☆☆
- 編集後書

千葉国体に少年女子、成年男子の出場が決定し、その速報を載せるべくあえて広報誌発行を一週間遅れさせていただきました。期待にこたえてすばらしい競技を見せて戴いた、監督、選手に感謝。取材の写真も400枚に及びましたが、大切なお宝です。